

若芽の出づる

(平成三年度寮歌)

柴田一君作歌・作曲

一

若^{わか}芽^がの出^いづる早^{さう}春^{しゅん}に
孤^こ影^{えい}も辞^じせぬ若^わ人^{こうど}の
尖^{せん}風^{ふう}躰^{たい}を貫^{つらぬ}けば
漲^{みなぎ}る大^{たい}志^しの息^い吹^ぶき有^あり

二

万^{ばん}物^{ぶつ}謳^う歌^たう盛^な夏^つなれど
榮^{えい}華^がの闇^{あん}部^ぶ忘^{わす}るまじ
凱^{がい}風^{ふう}四^{しかい}界^{かい}を覆^{おお}へども
鬼^き哭^{こく}の嘆^{なげ}きは芯^{しん}を凍^いて

三

紅^{こう}葉^{よう}吠^ほゆる秋^{あき}の窓^{まど}
落^{らく}葉^{よう}瓢^{ひょう}の様^{さま}を見^みむ
疾^{しつ}風^{ふう}怒^ど濤^{とう}の世^よなればこそ
真^ま理^{こと}の迪^{みち}を一^{ひと}筋^{すじ}に

四

氷^{ひょう}雪^{せつ}猛^{めつ}る嚴^{げん}冬^{とう}は
心^{しん}膽^{たん}練^{れん}磨^まの時^じ節^{せつ}かな
烈^{れつ}風^{ふう}大^{だい}地^ちを劈^{つんざ}けど
揺^ゆるがぬ我^{われ}らがこの宿^{やど}居^り